

新規農薬候補のスクリーニング方法(U579)

Description

植斑病原糸状菌（カビ）の感染による食糧植物の病気は、世界の食糧損失の原因の一つとなっている。そのため植物病原糸状菌の制圧が重要な課題であり、これまでも多くの農薬などが開発されてきた。一方で近年、植物病原菌は様々なタンパク質を植物に対して分泌することで、その感染を成立させていることが明らかになり、新しい感染防御の対象としても注目されている。しかしながら、これまで開発された農薬の中には、この点に活性をもつものはまだない。

京都大学の高野義孝 准教授らは感染時にタンパク質が分泌される際に働く遺伝子を特定し、そこをターゲットとした新規農薬候補のスクリーニング方法および、候補化合物を発明した。実際に候補化合物についてはウリ科植物を用いた試験により、感染防除効果があることが確認されている（図1）。

本発明によるスクリーニングでは、従来法よりも低コストで、短時間での選抜が可能であり、かつ従来のような殺菌剤ではないため、耐性菌の問題についてもリスクは低いと考えられる。

Advantage

- ① 新しいメカニズムでの感染防除システム
- ② 低コスト、短時間でのスクリーニングが可能
- ③ 候補化合物とその効果を確認済み

Business Model

既に選び出されている化合物については、感染防除活性を確認している。そのため、実用化に向けた研究開発に取り組んでいただける企業様を求めます。

【本技術の適用産業】

➤ 農業関連 など

We are seeking business partners to license the patent !

Patent

【発明者】 高野義孝

【出願人】 国立大学法人京都大学

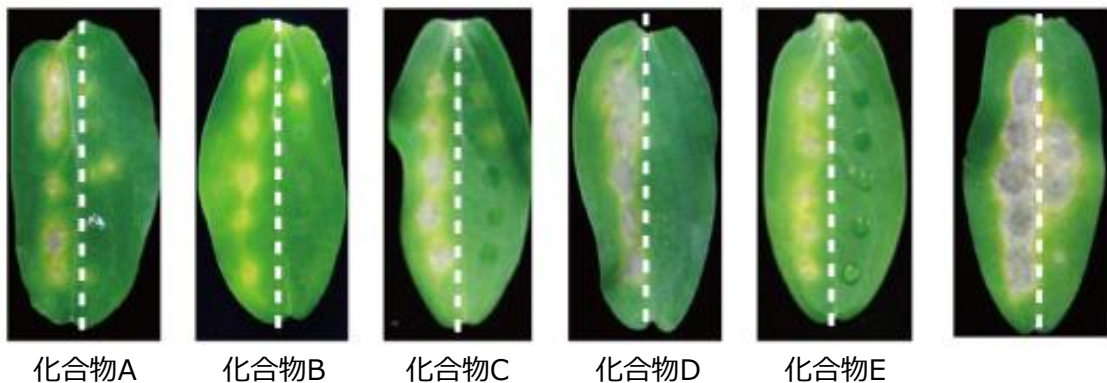


図1 ウリ類炭疽病菌に対する候補化合物の感染防除試験

関西ティール・エル・オー(株)

Kansai Technology Licensing Organization

Contact

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
 京都大学 産官学連携本部内 関西TLO(株)
 TEL (075)753-9150 / (075)353-5890
 E-mail : tlo@kansai-tlo.co.jp